

# 東日本大震災・原子力災害 第4回 学術研究集会 プログラム [暫定版]

2026年（令和8年）3月19日（木）～20日（金）

会場：コラッセふくしま 4階（福島県福島市三河南町1番20号）

3月19日（木）

09:30 受付開始（名札配布、出欠確認）  
10:00-12:00 口頭発表（セッション1）【A・B・C会場】  
13:20-13:30 主催挨拶 【A会場（多目的ホール）】  
13:30-15:30 口頭発表（セッション2）【A・B・C会場】  
15:40-17:40 口頭発表（セッション3）【A・B・C会場】

3月20日（金）

09:30 受付開始（名札配布、出欠確認）  
10:00-11:40 口頭発表（セッション4）【A・B会場】  
13:00-14:20 口頭発表（セッション5）【A・B会場】  
14:30-15:50 口頭発表（セッション6）【A・B会場】

A会場 4階 多目的ホール  
B会場 4階 中会議室401  
C会場 4階 小会議室402

## 19日（1日目）

	セッション	時刻	氏名	所属	発表題目
1 A	午前・A会場（多目的ホール）	10:00	佐藤 公	警備山噴火記念館	ホープツーリズムとそれ以外のツーリズム
	午前・A会場（多目的ホール）	10:20	菊池 健太	福島県立磐城桜が丘高等学校	中長期的な乳幼児同伴避難の実態
	午前・A会場（多目的ホール）	10:40	上田 勉	放送大学	福島第一原発事故における病院の避難
	午前・A会場（多目的ホール）	11:00	鈴木 智也	国立成育医療研究センター	福島第一原発事故後における「処理水」「汚染水」SNS言説の変遷——人間評価とAIモデルによる社会的態度判定の比較分析——
	午前・A会場（多目的ホール）	11:20	鍵 慶和	東京大学大学院学際情報学府	福島第一原発事故後における2次避難者の生活実態——3名の被災者の語りから——
	午前・A会場（多目的ホール）	11:40	関谷 直也	東日本大震災・原子力災害伝承館 / 東京大学大学院情報学環	除染土壌の再生利用、最終処分受入に関する自治体調査
1 B	午前・B会場（中会議室401）	10:00	KARIM Gulim	Department of Disaster Resilience and Science, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University	Loneliness and Its Determinants Among Residents Affected by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: A Cross-Sectional Study in Futaba, Okuma, and Tomioka Towns
	午前・B会場（中会議室401）	10:20	後藤 忍	福島大学共生システム理工学類	原子力災害時の安定ヨウ素剤の服用に関する教材等の調査
	午前・B会場（中会議室401）	10:40	瀬川 至朗	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	東日本大震災後の「福島」に関する全量日本語ツイートの量的分析——〈福島／フクシマ／ふくしま〉群の言説空間の差異——
	午前・B会場（中会議室401）	11:00	大杉 遥	東日本大震災・原子力災害伝承館	原子力防災に関する住民意識調査の結果
	午前・B会場（中会議室401）	11:20	福井 桃子	東京大学大学院学際情報学府	原子力災害時の屋内退避を促進する情報に関する研究
	午前・B会場（中会議室401）	11:40	松永妃都美	長崎大学原爆後障害医療研究所	原子力災害時の安定ヨウ素剤緊急配布における薬剤師の認識：全国調査
1 C	午前・C会場（小会議室402）	10:00	八巻 俊憲	元福島県立田村高等学校	福島原発事故から15年一拡大する「原子力公害」——
	午前・C会場（小会議室402）	10:20	田野 久貴	元日本大学、バムツカレ大学名誉教授	福島県中通りにおける樹木のβ線計測の試みと考察
	午前・C会場（小会議室402）	10:40	濱岡 豊	慶應義塾大学商学部	福島県民健康調査甲状腺検査データの分析——被ばく影響可視化プロセスと再分析——
	午前・C会場（小会議室402）	11:00	伊藤 浩志	フリランス	弱者切り捨ては被曝リスクを増大させ社会全体の活力を失わせる——福島原発事故からの復興を進める上で求められる放射線対策——
	午前・C会場（小会議室402）	11:20	石川 洋行	明治学院大学	「見捨てられた初期被曝」を可視化する
	午前・C会場（小会議室402）	11:40	林 衛	富山大学	福島「県民健康調査」検討委員会の現在地 2026——「原因不明の多発」のまま放置される小児・若年性甲状腺がん——
2 A	午後・A会場（多目的ホール）	13:30	濱岡 豊	慶應義塾大学商学部	ICRP刊行物改訂プロセスの課題——よりよい基本勧告策定に向けて——
	午後・A会場（多目的ホール）	13:50	地引 泰人	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	東京電力福島第一原発事故後に改定された原子力災害の国際的対応の予備的検討
	午後・A会場（多目的ホール）	14:10	奥野 浩	日本原子力研究開発機構	日本の原子力災害への近隣諸国の対応——国際協力を通して得られた情報——
	午後・A会場（多目的ホール）	14:30	原田 理沙	慶應義塾大学	東日本大震災を経験した避難者が語ること——語り部のテキスト解析——
	午後・A会場（多目的ホール）	14:50	丹波 史紀	立命館大学産業社会学部	東日本大震災・原子力災害による広域避難者調査（中間報告）
	午後・A会場（多目的ホール）	15:10	原田 英美	福島大学食農学類	飯館村における営農再開と集落営農の現状と課題
2 B	午後・B会場（中会議室401）	13:30	飯島 瑚穂	東洋高校	除去土壌等の呼称が高校生のリスク認知に与える影響
	午後・B会場（中会議室401）	13:50	齋藤 玲	東北大学大学院情報科学研究科 / 災害科学国際研究所	学校の震災エピソードの収集と教育資源化のDX——イベント記憶検索のための空間的手がかりの地理心理学デザイン——
	午後・B会場（中会議室401）	14:10	弓山 達也	東京科学大学	大学生による震災ボランティアの継続性に向けて——専門性・地域性・追体験——
	午後・B会場（中会議室401）	14:30	猪鼻 真裕	一橋大学大学院言語社会研究科	廃炉政策の二元制と跡地利用の可能性
	午後・B会場（中会議室401）	14:50	藤本 典嗣	大阪経済大学	災害復興政策のマクロ経済構造——国内吸収型と国際援助型の比較
	午後・B会場（中会議室401）	15:10	服部 正幸	東日本大震災・原子力災害伝承館 / 東京大学大学院学際情報学府	原子力災害被災地における集落営農と二地域居住世帯の位置づけ——福島県葛尾村を事例に——
2 C	午後・C会場（小会議室402）	13:30	河野 恭彦	日本保健物理学会	福島第一原発事故後ウェブサイトの「専門家」が答える暮らしの放射線 Q&A」の活動内容分析と得られた教訓 この経験を未来に伝承するために
	午後・C会場（小会議室402）	13:50	UNO Kazuko	Louis Pasteur Center fo Medical Research	3.11後に出版された放射線影響を語る書籍：15年目の検証
	午後・C会場（小会議室402）	14:10	南部 武幸	東北大学	放射線教育を目的とするメタバースプラットフォームでの空間構築
	午後・C会場（小会議室402）	14:30	平井 俊男	大阪府立長尾高校 理科研究部	福島原発震災に関するSTEAM教育教材の開発 II：生徒の気づき
	午後・C会場（小会議室402）	14:50	水野 義之	京都女子大学	原子力防災における「上空の視点」の構築：気球実験による3次元測定とコミュニティ・レジリエンス
	午後・C会場（小会議室402）	15:10	鳥居 寛之	東京大学理学系研究科	生成AIを活用したSNS時代の迅速な放射線リスク情報発信
3 A	午後・A会場（多目的ホール）	15:40	則藤 孝志	福島大学食農学類	震災15年を迎える川内村の農業復興の現局面：営農再開から営農「維持」への対応課題
	午後・A会場（多目的ホール）	16:00	根本 豪己	東京大学工学部	原発被災地域における宿泊施設の整備過程——事業者を取り巻く制度的条件に着目して——
	午後・A会場（多目的ホール）	16:20	林 薫平	福島大学食農学類	原発事故被災後の福島県田村市都路町における集落営農法人型、耕畜連携型 および農林畜複合型（あぶくま型）の営農再開の模索
	午後・A会場（多目的ホール）	16:40	楊 凌煙	大阪大学大学院人間科学研究科	福島県浜通り地域における「次世代影響不安」と報道・情報の関連を探る～第三回「健康と情報の調査」から（速報版）～
	午後・A会場（多目的ホール）	17:00	藤澤 弥栄	福島大学食農学類	津波被災地の地域農業の復興に集落営農組織が果たした役割について——相馬市の事例から——
	午後・A会場（多目的ホール）	17:20	荒井 聡	福島大学食農学類、東日本大震災・原子力災害伝承館	原発事故被災地における広域的営農再開モデルと新たな産地形成——南相馬市小高区を中心に——
3 B	午後・B会場（中会議室401）	15:40	奥山 泰牙	福島大学共生システム理工学研究科	2024-2025年における三陸から常陸の沿岸における放射性セシウム濃度分布
	午後・B会場（中会議室401）	16:00	中島 裕夫	大阪大学核物理研究センター	セシウム-137の低線量内部被曝による制がん性と遺伝的影響——32世代にわたるマウスへの影響と食品基準値——
	午後・B会場（中会議室401）	16:20	佐々木理枝	東北大学大学院医学系研究科 放射線検査学分野	携帯用小型GMサーベイメータの基礎的性能評価
	午後・B会場（中会議室401）	16:40	中山 千尋	福島県立医科大学	福島での放射線被ばくによる「次世代影響不安」と報道・情報の関連を探る～第三回「健康と情報の調査」から（速報版）～
	午後・B会場（中会議室401）	17:00	鈴木 正敏	福島国際研究教育機構	原子力災害における環境防護の具体化にむけた取り組みについて
	午後・B会場（中会議室401）	17:20	眞島 杏佳	東日本大震災・原子力災害伝承館	福島県大熊町の特定帰還居住区域における環境放射線の調査と被ばく線量評価について
3 C	午後・C会場（小会議室402）	15:40	鈴木美枝子	東日本大震災・原子力災害伝承館	大震災後の生活環境が子どもの対人応答性とレジリエンス形成に及ぼす影響
	午後・C会場（小会議室402）	16:00	青砥 和希	宇都宮大学	原子力災害被災地域における教育プログラムに必要な鍵概念の抽出過程
	午後・C会場（小会議室402）	16:20	小野 舟瑛	福島学院大学	東日本大震災後における「気になる子」への新たな支援体制の構築——機械学習による学校不適応予測モデル活用——
	午後・C会場（小会議室402）	16:40	柏崎 佑哉	長崎大学原爆後障害医療研究所	福島県大熊町における自家消費食品検査の放射性セシウム濃度の経年変化と預託実効線量評価
	午後・C会場（小会議室402）	17:00	松崎 大志	福島県立磐城高等学校	福島県いわき市におけるハマダングロシの簡易分布調査の試みと 護岸工事による生息域への影響の考察
	午後・C会場（小会議室402）	17:20	中丸 和	大阪大学大学院	原子力災害下における教員の配置状況に関する基礎的分析——避難児童生徒への支援施策としての「兼務発令」に着目して——

## 20日（2日目）

	セッション	時刻	氏名	所属	発表題目	
4 A	午前・A会場（多目的ホール）	10:00	山本 啓介	東北大学大学院	β線用プラスチックシンチレーションサーベイメータにおけるγ線影響の検証——線源検出器間距離に基づいた比較——	
	午前・A会場（多目的ホール）	10:20	田村 拓己	明治大学情報コミュニケーション学部	原子力災害被災地における二拠点居住の存立構造と制度的課題——福島県葛尾村の公費解体をめぐる居住地選択と生活再建——	
	午前・A会場（多目的ホール）	10:40	山縣 青空	東京音楽大学	東北地方における民俗芸能と「復興」——「東北絆まつり」の分析から——	
	午前・A会場（多目的ホール）	11:00	小竹 樂和	成城学園高等学校	民俗芸能における若者の参加動機と継続要因に関する研究——福島県浪江町3地区の田植踊り復活事例に着目して——	
	午前・A会場（多目的ホール）	11:20	山田 修司	福島大学	被災3県および大都市圏における震災伝承への関心と語り部認知	
	4 B	午前・B会場（中会議室401）	10:00	伊藤 美生	青山学院横浜英和中学校 / 東日本大震災・原子力災害伝承館コース研究員	福島県双葉郡におけるご当地キャラクターの役割と住民とのつながりの変遷
午前・B会場（中会議室401）		10:20	築地 達郎	龍谷大学社会学部	記憶と記録が融け合う未来に向けた原子力リスクの超時代的長期伝承——情報社会学の知見からの考察——	
午前・B会場（中会議室401）		10:40	林 智裕	ジャーナリスト / 東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員	「風評加害」と説明責任回避の構造——報道機関・政治家による反論回避パターンの事例研究——	
午前・B会場（中会議室401）		11:00	小柴 佑介	横浜国立大学	Natechリスクを有する建物への再入棟行動を抑制する防災マンガ教材——有用性評価と展望——	
午前・B会場（中会議室401）		11:20	石橋 哲	株式会社クロト・パートナーズ	原子力災害後の信頼醸成におけるプロセス監査の役割——浜岡事業の教訓とアーカイブ・ガバナンスの検証可能性——	
5 A		午後・A会場（多目的ホール）	13:00	関谷 央子	会津若松市地域学校協働活動推進員	防災教育教材のプログラム分析——中越地震と東日本大震災の被災地における次世代への教訓に関する比較調査——
	午後・A会場（多目的ホール）	13:20	多田 健太	東京大学大学院学際情報学府	「震災伝承施設」の成立過程に関する考察——慰霊と伝承の社会学——	
	午後・A会場（多目的ホール）	13:40	浅野 希聖	総合研究大学院大学 総合地球環境学コース	東日本大震災後の「弱き声」をめぐる言説——「震災演劇」にみる若者の声とメディア報道の比較から——	
	午後・A会場（多目的ホール）	14:00	佐藤 翔輔	東北大学災害国際科学研究所	災禍の経験を伝承する「語り部」の思いからみる活動開始・継続に関する考察：災害・戦争・事故の当事者・非当事者に対する質問紙調査の自由記述から	
	5 B	午後・B会場（中会議室401）	13:00	行司 高博	ひょうご震災記念21世紀研究機構	能登半島地震の教訓から考える被災者支援の課題と災害対応システムがめざすべき方向性
		午後・B会場（中会議室401）	13:20	飯塚 明子	宇都宮大学	外国人を共助の担い手とする地域防災の実践研究——まちあるきと食を通じた包摂的アプローチ——
午後・B会場（中会議室401）		13:40	杉本 紗希	玉川聖学院	中高生における防災バッグの医薬品備蓄と災害時アレルギー対応に関する実態調査	
午後・B会場（中会議室401）		14:00	安本 真也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	東日本大震災の被災経験は北海道・三陸沖後発地震注意情報発表後の防災行動に影響を及ぼしたのか	
6 A		午後・A会場（多目的ホール）	14:30	福嶋 美咲	大阪大学	東日本大震災に対する演劇的応答と対話の可能性——岡田利規・坂手洋二・畑澤聖悟の比較研究——
		午後・A会場（多目的ホール）	14:50	筑波 匡介	福島県立博物館	震災遺産の常設展示について——福島県立博物館における震災展示——
	午後・A会場（多目的ホール）	15:10	瀬戸 真之	東日本大震災・原子力災害伝承館	現在も継続する災害の博物館展示に関する一考察	
	午後・A会場（多目的ホール）	15:30	除本 理史	大阪公立大学大学院経営学研究科	公害資料館ネットワーク参加団体アンケート調査結果の概要——福島原発事故に関する民間伝承施設と政策的支援——	
	6 B	午後・B会場（中会議室401）	14:30	板谷 佳音	トキワ松学園高等学校	災害時におけるスマートフォン利用制限は情報伝達の障壁になるのか——デジタルネイティブ世代のスマホ利用の実態から探る——
		午後・B会場（中会議室401）	14:50	金成 美怜	東北芸術工科大学デザイン工学部コミュニティデザイン学科	「ゆるふかモデル」による震災理解の学び方デザインの研究
午後・B会場（中会議室401）		15:10	小川 航	公文国際学園高等部	災害時に中高生はスマートフォンをどのように使うのか？	
7 A		午後・A会場（多目的ホール）	15:40	山本 啓介	東北大学大学院	β線用プラスチックシンチレーションサーベイメータにおけるγ線影響の検証——線源検出器間距離に基づいた比較——
		午後・A会場（多目的ホール）	16:00	田村 拓己	明治大学情報コミュニケーション学部	原子力災害被災地における二拠点居住の存立構造と制度的課題——福島県葛尾村の公費解体をめぐる居住地選択と生活再建——
		午後・A会場（多目的ホール）	16:20	山縣 青空	東京音楽大学	東北地方における民俗芸能と「復興」——「東北絆まつり」の分析から——
	午後・A会場（多目的ホール）	16:40	小竹 樂和	成城学園高等学校	民俗芸能における若者の参加動機と継続要因に関する研究——福島県浪江町3地区の田植踊り復活事例に着目して——	
	午後・A会場（多目的ホール）	17:00	山田 修司	福島大学	被災3県および大都市圏における震災伝承への関心と語り部認知	
	午後・A会場（多目的ホール）	17:20	伊藤 美生	青山学院横浜英和中学校 / 東日本大震災・原子力災害伝承館コース研究員	福島県双葉郡におけるご当地キャラクターの役割と住民とのつながりの変遷	

